

## I 校区の状況

日本で2番目に広い村が猿払村です。拓心中学校は、役場所在地である鬼志別地区にあります。

本校は、1985年（昭和60年）に、浜猿払中学校、鬼志別中学校、知来別中学校の統廃合の末、村唯一の中学校として誕生しました。

校下には4小学校（鬼志別小・知来別小・浜鬼志別小・浅茅野小）があります。校区が非常に広いため、およそ6割の生徒がバス通学をしています。

村の基幹産業は酪農業及び水産業です。一次産業とそれに関連する事業に従事する方が多い村です。



## III 生徒・教職員

【生徒在籍状況】

	鬼志別	浜鬼志別	知来別	浜猿払	浅茅野	芦 野	合 計
1年	14	3	10	4	4	0	35
2年	12	6	1	0	0	0	19
3年	5	7	7	2	1	0	22
合計	31	16	18	6	5	0	76

【教職員】

職 名	氏 名	担 任	教 科	分 掌	部活動
校 長	大谷 智昭				
教 頭	古川 正史			総 務	
教 諭	吉田 拓矢	1年担任	理 科	研 究	バドミントン
	土岐 雄二	1年副担任	保健体育	生徒指導	野 球
	児玉 麗楽	1年副担任	技術・家庭科	研 究	バレー
	佐々木 悠	特支担任	技術・家庭科	生徒指導	文 化
	蛸澤 美空	特支担任	特支全般	研 究	バドミントン
	高橋 美鈴	2年担任	英 語	教 務	文 化
	伊藤 努	2年副担任	数 学	教 務	バドミントン
	上田 雄大	特支担任	特支全般	生徒指導	バレー
	大内 明莉	3年担任	社 会	研 究	剣 道
	田辺 佳太	3年副担任	国 語	教 務	野 球
	中島 祐貴	特支担任	特支全般	教 務	剣 道
	柳浦健太郎	特支担任	特支全般	生徒指導	野 球
養護教諭	八百谷祥子			生徒指導	
事務職員	中川 勇			事 務	
A L T	ヴァンダーウェル・ブルックリン・ニコル				
公務補	久保 孝行				

【担当校外班】

校外班	鬼 志 別	高橋、大内、柳浦、佐々木、蛸澤、中川
	浜鬼志別	上田、児玉、伊藤
	知 来 別	土岐、八百谷、田辺
	浅 茅 野	吉田、中島

## II 猿払村の特色



さるつぶ

【猿払村の基本理念】

「心豊かでステキな人がいる村」

猿払村の東はオホーツク海の海岸線、西は丘陵性山地を境に豊富町、南は幌延町、浜頓別町、北は稚内市に隣接しています。村としては北海道で一番広く、総面積の約8割が山林や原野であり、手つかずの自然がたくさん残っています。

猿払（サルフツ）の語源はアイヌ語の「サロプト」「サラブツ」から転化したもので『葦（芦）川口』『葦（芦）原の河口』を意味しています。

猿払村の天然ほたて貝の水揚量は、日本一を誇るまでに安定成長を重ね、毛ガニやサケ、マスと同様にオホーツク海の大自然の恩恵を受けた「さるつぶブランド」として有名です。また、漁業と並んで村の2大基幹産業としての酪農業の地位が確立されています。海の幸、山の幸、牛乳、肉などに恵まれた村です。（猿払村役場HPより）



## IV 主な行事

4 年度初め休業、着任式・始業式・入学式、1年生を迎える会、全学年学力テスト、PTA三役会、全国学力・学習状況調査、参観日・PTA総会・学級懇談会、夏季日課開始、生徒総会

5 保護者面談、学校運営協議会、1年宿泊研修、修学旅行避難訓練、部活動保護者会議

6 Q－U検査、宗谷地区中体連陸上・柔道・剣道大会、赤ちゃん抱っこ体験、定期テスト

7 宗谷地区中体連球技大会、3年三者面談、参観日・懇談会、1学期終業式、夏季休業

8 夏季休業、学校閉庁日、始業式

9 体育祭、2年防災学校、村P連研究大会、2年職場体験、3年学力テスト、避難訓練、定期テスト、学校運営協議会、英語検定

10 英語I B Aテスト、3年学力テスト、学校祭、漢字検定、冬季日課開始、3年保育実習、猿払村教育研究大会

11 村文化祭、管内PTA研究大会、Q－U検査、全学年学力テスト、生徒会役員選挙、3年三者面談、定期テスト

12 3年学力テスト、3年薬物乱用防止教室、開校記念日、生徒総会、終業式、冬季休業、学校閉庁日

1 冬季休業、冬の学習講座、始業式、3年学年末テスト、英語検定、3年参観日・懇談会

2 全学年学力テスト、公立高推薦入試、新入生説明会、私立高入試、1・2年学年末テスト、1・2年参観日・懇談会、漢字検定

3 PTA三役会、公立高入試、3年生を送る会、卒業式1・2年学年末面談、修了式・離任式、年度末休業

## V 開校・沿革

昭和22年、戦後の学制改革により、自治体、地域住民の熱意と努力によって、鬼志別中学校、その分校として知来別中学校、浅茅野中学校、浜猿払中学校が設立されました。

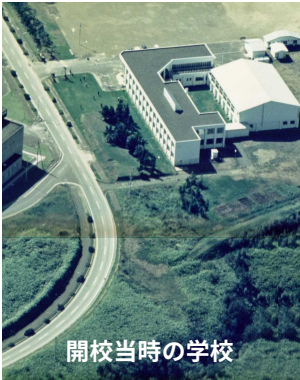
その後、産業経済の発展とともに開拓入植、炭鉱開発との関係もあって、上猿払中学校、石炭別中学校、狩別中学校、小石中学校が次々と新設されました。

昭和40年頃から、地場産業の衰退と激しい過疎化現象によって、児童生徒の激減が起こり、学校の統廃合を余儀なくされました。相次ぐ統廃合の結果、残った鬼志別中学校、知来別中学校、浅茅野中学校を統合し、昭和60年4月、村唯一の中学校となる拓心中学校が新設されました。開校当時の生徒数は150名でした。

屋内体育館の完成を待ち、同年12月8日に校舎並びに体育館の落成式が行われ、この日を開校記念日としました。

昭和60年4月 開校式  
12月 校舎・体育館落成式典  
61年12月 開校記念日制定（12月8日）  
63年5月 グランド開き  
平成元年6月 管内教育研究集会  
8月 全国子育て研究大会どろんこ広場  
3年7月 オジョルスキ村交流（～16年）  
6年12月 開校10周年記念式典  
17年11月 アスベスト除去工事  
18年4月 二期制開始（～令和元年）  
19年3月 校舎大改修工事終了  
23年8月 オジョルスキ交流（～27年）  
26年11月 開校30周年記念  
令和2年2月 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業・分散登校

令和3年度 新型コロナウイルス感染症への対応  
令和4年度 新型コロナウイルス感染症への対応



## VII 日課表・授業時数・授業日数

【日課表】

職員打合せ	08：00～08：10
生徒登校	～08：10
朝 読 書	08：10～08：20
朝 の 会	08：20～08：30
1時間目	08：35～09：25
2時間目	09：35～10：25
3時間目	10：35～11：25
4時間目	11：35～12：25
給食・歯磨き	12：25～12：55
昼 休 み	13：00～13：15
5時間目	13：20～14：10
6時間目	14：20～15：10
清 掃	15：10～15：25
帰りの会	15：25～15：30
生徒下校	15：30
休 憩	15：30～16：15
職員打合せ	16：15～16：30
職員退勤	16：30
下校バス	① 15：45
	② 夏 18：00 冬 17：15

【標準授業時数】

	1 年	2 年	3 年
国 語	140	140	105
社 会	105	105	140
数 学	140	105	140
理 科	105	140	140
音 楽	45	35	35
美 術	45	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
外 国 語	140	140	140
道 徳	35	35	35
総 合	50	70	70
特別活動	35	35	35
合 計	1015	1015	1015

【授業日数】

1 年	2 年	3 年
205	196	

1学期始業式・入学式（4／6）  
夏季休業（7／26～8／25）  
冬季休業（12／27～1／15）  
卒業式（3／9）  
修了式（3／24）

## VI 校章

朔北の厳しい自然の中、営々として猿払村を築き上げてこられた先人の開拓魂を受け継ぎ、郷土の開拓・発展と己の心を切り開く意を「拓」の文字に託し、それを向学の意を込めた「ベン」と「猿払の自然」で包み込みました。緑は「豊かな牧野」を、青は「恵みのオホーツク海」を象徴しており、外枠の形は未来へのはばたきを意味しています。（江川千恵子教諭 作成）



【村内中学校の歴史】

鬼志別中学校	昭和22～60	拓 心 中 学 校 へ
知来別中学校	//	//
浅茅野中学校	//	//
浜猿払中学校	昭和22～58	鬼志別中学校へ
上猿払中学校	昭和26～42	浅茅野中学校へ
石炭別中学校	昭和27～41	上猿払中学校へ
狩 別 中 学 校	昭和28～51	浜猿払中学校へ
小 石 中 学 校	昭和36～48	鬼志別中学校へ
拓 心 中 学 校	昭和60～	

## VIII 校舎平面図

